

環境ビジョン 5

みんなで取り組むまち

21世紀の自治体のあり方として、自然生態系と共生し、持続的に成長・発展していく地域経済社会を構築することが求められています。

そのために、行政は、職員の資質や環境意識の向上だけでなく、各主体の模範となるよう組織としての機能を高めていくことが重要です。

また、地球環境問題や地域の課題に対し、総合的な視点で取り組むためには、行政の持つ情報をできる限り公開して共有化を図り、地域住民が主体的に地方自治に関わるしくみづくりや支援をしていくことが必要です。

本市は、地域に住む一人ひとりの「気づき」を起点に、その行動を地域の「連携」へと広げ、住民や団体・事業所・行政の協働による「持続可能な市民自治社会」の実現をめざす「エコガバナンス宣言」を行いました。

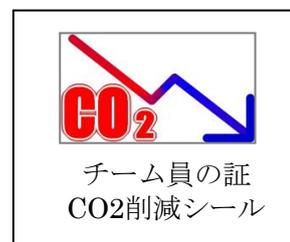
わたしたちは、地球環境問題や地域の課題に対して『みんなで取り組むまち』を創造し、将来世代に引き継いでいきます。

1 職員力

●職員の資質向上

持続可能な社会を構築していくためには、職員各々が実施している事業に対し、環境に配慮した視点を持つことが必要です。喫急な課題である「気候変動」に対する正しい知識を持ち、職員自ら率先行動するため、全職員を対象に定期的にメーリングリストで環境情報を提供しています。

■マイ6通信発行 Vol.108 ～ Vol.145 (計37号発行)



●率先行動

【行動計画と進行管理】

市では温室効果ガス削減や経費削減のため、ひとつの事業所の率先行動として平成20年6月に「新城市地球温暖化実行計画」を策定しました。これにより「ごみ」や「使用燃料」などの管理を実施しています。

■【目標】温室効果ガスの排出量を平成24年度までに平成18年度に対し、6%削減する。

【市民・事業所との連携】

市では地域の方々や事業所に対し、施策の計画段階からの参画を求め、合意形成を図りながら連携して取り組む仕組みの構築に取り組んでいます。

そのひとつに環境基本計画が挙げられます。

この計画は、平成20年3月に策定された総合計画を環境面で後押しするものとして、市民のみなさんと常にオープンな会議のもとで平成20年10月に策定しました。

今後、その計画を「市民自治社会の実現」に向け、事業所との有機的な連携により進めていきます。

2 市民力

●リーダー養成

市では、環境問題について関心をもち、知識を得るにとどまらず、環境保全のためのスキルを習得し、自ら行動するとともに、職場や地域社会においてリーダーシップを発揮し得る「環境リーダー」を養成する講座を開催しています。



また、広大な市域の約84%を占める森林は本市の特徴ですが、森林の有する公益的機能を保持するために行政・NPOなどが連携し、森林を整備していく人材（ボランティア）を指導するリーダーを育成するための「森林ボランティアリーダー養成講座」を実施しました。同講座は地域再生計画「森とひとを育てる森林総合産業創出プロジェクト」の一環として行われ、平成20年度においては市内外から約100名ほどが参加し、あわせて、会場となったおよそ1haの森林

（市有林など）が整備されました。

●活動の促進

環境問題の多くは、個々の取り組みだけでは解決できません。個人の取り組みからグループの取り組みへ、また、それが行政区域を越えた取り組みになっていくことも重要です。

こうしたことから、初めての試みとして豊川市の市民団体と交流する機会を設け、情報交換しました。

◆平成20年7月2日実施 24名参加

その後、団体間でイベント情報や取り組みのノウハウについての交換が続いています。



また、情報提供をさまざまなかたちで事業者や市民のみなさんに届けることは、パートナーシップを構築するうえで非常に重要です。市では広報やホームページを利用しながら、さまざまな情報を提供しています。

毎月1回発行される「広報しんしろ・ほのか」においては、環境情報ページとして「エコとびっくす」を掲載しています。また、特に市民にPRすべき環境情報は、広報担当課と調整を図り、特集記事として掲載します。

◇広報への情報掲載状況

月（発行月）	掲載した主な環境情報
5月号（4月）	<ul style="list-style-type: none"> ・マイバッグ調査の実施 ・委員募集（キャンドルナイト実行委員会・環境審議会） ・太陽光発電システム設置費補助金交付 ほか
6月号（5月）	<ul style="list-style-type: none"> ・環境の日・環境月間 ・親と子の環境講座開催のお知らせ ・環境基本計画（案）への意見募集 ほか
7月号（6月）	<ul style="list-style-type: none"> ・親と子の走る環境教室開催のお知らせ ・燃料電池自動車体験乗車会開催のお知らせ ・可燃ごみ袋 変更のお知らせ ほか
8月号（7月）	<ul style="list-style-type: none"> ・モニター募集（省エネナビ、マイバッグ） ・みんなでやらまい。マイバッグでお買い物 ほか
9月号（8月）	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル情報コーナーを活用しよう ・「不都合な真実」DVD貸出受付中 ・エコドライブ講習会開催のお知らせ ほか
10月号（9月）	<ul style="list-style-type: none"> ・市民環境講座「高度1万からのメッセージ」開催のお知らせ ・自動車の燃費計モニター募集 ・ごみ処理施設及びごみ処理方法のご案内 ほか
11月号（10月）	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンドルナイト新城開催のご案内 ・犬の登録と狂犬病予防注射 ・家電リサイクル法をご存じですか ほか
12月号（11月）	<ul style="list-style-type: none"> ・埋立処分場での取り組みについて ・市民環境講座「地球温暖化～頻発する異常気象や身の回りの出来事との関連～」開催のご案内 ほか
1月号（12月）	<ul style="list-style-type: none"> ・新城市環境基本計画の概要について ・悪臭防止法規制基準変更のお知らせ ほか
2月号（1月）	<ul style="list-style-type: none"> ・可燃ごみの搬入検査について ・新城市レジ袋削減推進協議会を開催しました ・リサイクル情報 ほか
3月号（2月）	<ul style="list-style-type: none"> ★特集：マイバッグではじめるエコ ・今日から始める省エネ行動 ・家電リサイクル法改正のお知らせ ほか
4月号（3月）	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンドルナイト新城実行委員会委員募集のご案内 ・犬の登録と狂犬病予防注射 ・可燃ごみ収集日変更のお知らせ ほか

このほかにも広報では、みなさんが「譲りたいもの」「譲ってほしいもの」を募集し、譲り合うシステムとして「リサイクル情報コーナー」を設け、毎月掲載しています。

ご家庭で不要となったものでも、みなさんの中にはそれを必要としている人がいます。物を大切に使う意識の高揚のためにもぜひご利用ください。

また、講座開催等に関する環境情報をダイレクトに入手されたい方のために、電子メールや郵送による情報提供も実施しています。

■登録者数 電子メール 13名、郵送 46名
希望される方はお気軽にお申し込みください。

3 協働

●エコガバナンス

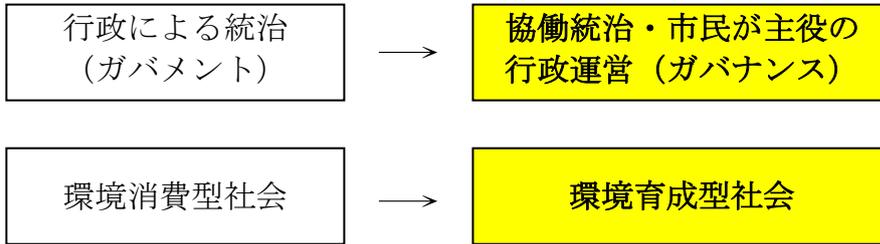
旧新城市は、環境管理の国際規格ISO14001に取り組んできました。「新城市都市環境基本計画」と「新城市環境基本条例」をベースにした環境マネジメントシステムを構築し、平成13年2月の認証取得後も取り組みの内容や職員の資質向上などの継続的改善に努めてきました。

平成17年10月1日、市町村合併により新しい新城市が誕生し、市民・事業所・行政が協働して持続可能な市民自治社会を地域全体でつくりあげていく「しんしろエコガバナンス宣言」(平成18年2月25日)を行い、新たな新城市の環境の取り組みのしくみづくりがスタートしました。

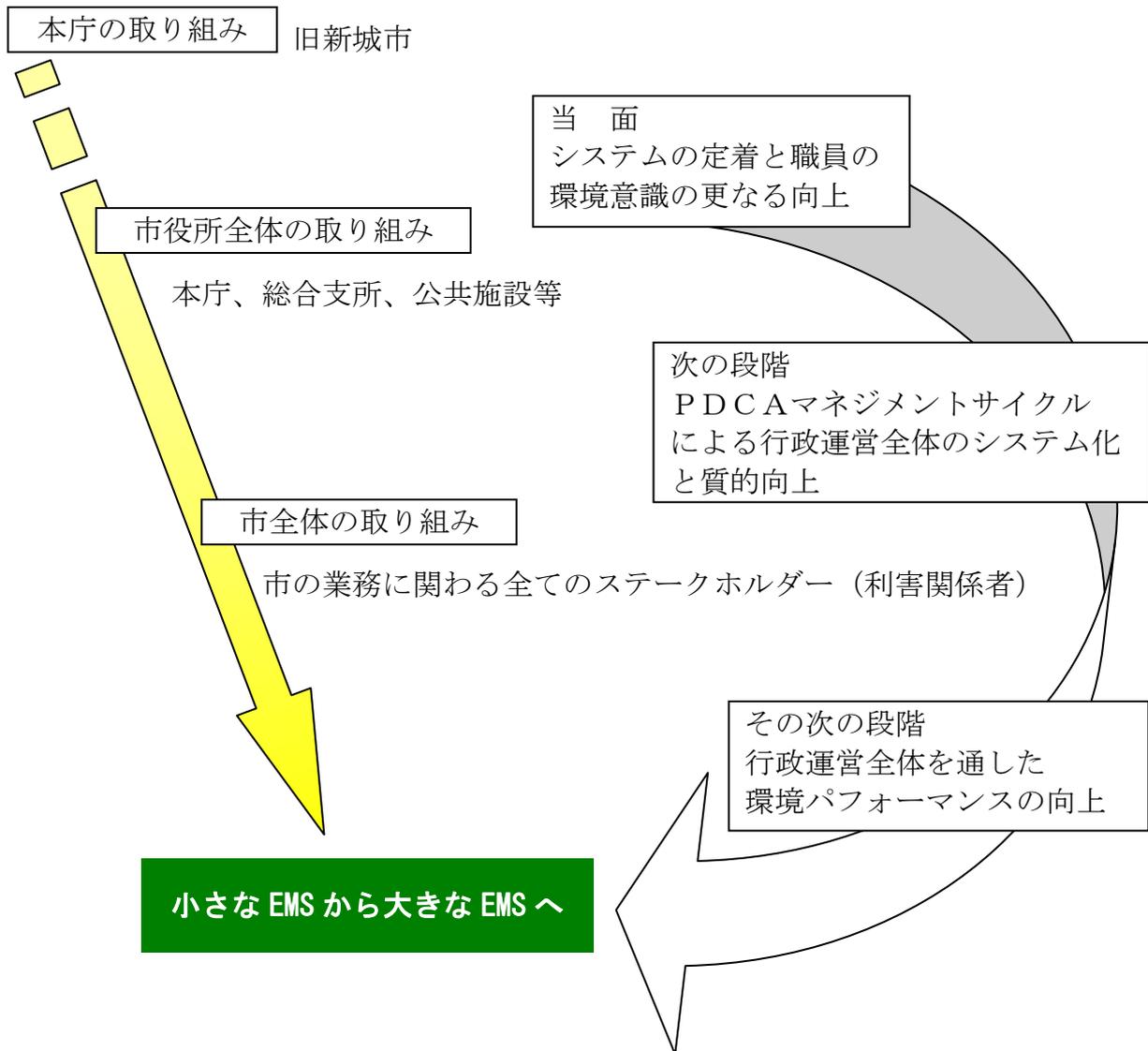
「しんしろエコガバナンス3つの柱」

1. エコオフィス : 紙・ごみ・電気などの取り組みで、事務室や家庭において
(環境行動配慮事業) 環境への悪い影響を減らそうとするもの
2. エコアクション : 温暖化防止の取り組みや河川の水質改善、環境ボランティア
(環境活動改善事業) など環境を保全・改善しようとするもの
3. エコガバナンス : 環境に軸足を置いた市民自治社会の確立と充実をめざし、
(環境連携構築事業) そのしくみを市民みんなでつくりあげていこうとするもの

「しんしろエコガバナンスのめざすもの」



【市町村合併による今後の取り組みの基本方向】



《IS014001 認証取得事業所等連絡会議》

地域における環境に関する取り組みを進めていくには横のつながりが不可欠です。

市では、IS014001認証取得事業所とコミュニケーションを充実することによって、「連携」による環境への取り組みを一層高めていくことを目的として定期的に会議を開催しています。

◇IS014001認証取得事業所等連絡会議名簿（平成20年度末現在）

連絡会議参加事業所	
三菱電機(株)名古屋製作所新城工場	(株)育良精機製作所愛知新城工場
(株)大紀アルミニウム工業所新城工場	BASF INOAC ポリウレタン(株)本社工場
横浜ゴム(株)新城工場	バルカーセイキ(株)
新東工業(株)新城製作所	瀧川オブラート(株)
共和レザー(株)新城工場	光田屋(株)
(株)イノアックコーポレーション八名事業所	新城市商工会
オーエスジー(株)新城工場	(株)トンボ鉛筆 新城工場
中村建設(株)名古屋支店新城営業所	オーエスジー(株)
サミット昭和アルミ(株)新城工場	イズテック(株)
(株)アイデン	新城市
コマツハウス(株)新城工場	

〈会議内容抜粋〉

改正もしくは改正の予定がある環境関連法令のほか、以下のような内容について情報交換しました。



会議実施日	主な内容
5月16日 市民体育館第1会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・新城市議会3月定例会における議決結果について ・新城クリーンフェスタの実施について ・燃料電池自動車啓発推進事業について ほか
8月20日 市民体育館第1会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・新城市議会6月定例会及び7月臨時会における議決結果について ・悪臭防止法に係る臭気規制規制区域の動向について ・新城市地球温暖化防止実行計画の策定について ほか
11月18日 市民体育館第1会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・新城市議会9月定例会における議決結果について ・新城市環境基本計画の制定について ・燃費マネージャーの貸出について ほか
2月16日 勤労青少年ホーム集会室	<ul style="list-style-type: none"> ・新城市議会12月定例会における議決結果について ・環境保全協定の再締結について ・電気自動車推進に係る実証実験事業について ほか